

4月1日から

市の組織・機構が 変わりました

さまざまな市民ニーズに的確、迅速に対応するとともに、重要施策推進機能の強化促進を図るため、市の組織・機構を見直しました。

4月1日から一部変更となりましたので、その内容についてお知らせします。なお、新しい機構図は別冊4〜5ページに掲載しています。

■問い合わせ 企画課企画係 (☎2102008)

■機構改革の主な内容

市政運営の総合的・効果的な推進を目指し、第2次行財政改革大綱の実施計画に基づき、組織の簡素・効率化と重点事項の推進に必要な体制整備を最小限行いました。

政策統括監

市民の市政への参画推進や公聴広報機能の充実、市長特命事項の重要施策を推進するため、「政策統括監」を設置し、全体の事業促進を図ります。

秘書課

総務部企画課内の公聴広報係と秘書係を独立させ、政策統括監の下に「秘書課」を新設しました。

企画課

高梁西地区へのケーブルテレビ網整備事業完了、第2次行財政改革大綱策定等に伴い、市の政策マネジメント機能の強化を図るため、総務部企画課と総合政策課を統合して「企画課」とし、「企画係」「行政改革推進係」「情報係」を設置しました。

監理課

契約管理部門の機能強化を図るため、産業経済部監理課を総務部へ移設しました。

市民課

地域公共交通総合連携計画に掲げられている各施策や、定住推進関係の各施策をまちづくり活動と一体になって推進するため、市民生活部市民環境課を分割して、「市民課」とし、「戸籍住民係」「市民定住係」「交通係」を設置しました。

環境課

環境基本計画等の重要施策を促進させるため、「環境課」に「環境政策係」「環境衛生係」を設置しました。

健康づくり課

市民の健康づくりを増進するため、市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」の所管を市民生活部健康づくり課へ位置づけました。

副市長に 守本 堅さん



3月定例市議会において、守本 堅さん(53)(南町)が副市長に選任され、4月1日付けで就任しました。任期は、平成27年3月31日までの4年間。

守本副市長は、昭和56年4月岡山県職員となり、労政・雇用対策課総括参事、企画振興課副課長などを歴任。平成22年4月から就任までは県民生活交通課副課長を務めていました。

3月 定例市議会

3月定例市議会が3月3日から23日まで21日間の会期で開かれました。平成23年度一般会計・特別会計予算案、東日本大震災の被災地支援関連3000万円を盛り込んだ平成22年度一般会計補正予算案など70議案を上程。原案どおり可決されました。

議員発議の「高梁市議会議員定数条例の一部を改正する条例」も賛成多数で可決され、次回選挙(平成24年10月23日任期満了)から定数が現行22から20に削減されます。

〔可決された主な議案〕

▼高梁市農業振興宿泊施設設置条例：旧高梁城南高校川上校地(川上町領家)に農業振興宿泊施設を設置するため

▼高梁市たかはし子ども未来ゆめ基金条例：子育て支援施策を長期的・安定的に実施するため基金を設置するため

▼高梁市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例：平成24年度から布寄、吹屋小学校を廃校とするため

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて：藤井正夫さん(横町)、本倉英俊さん(成羽町羽山)、吉本守介さん(川上町高山)の推薦

方谷駅駅舎が 国登録有形文化財に

中井町西方にあるJR伯備線方谷駅の駅舎が3月18日に開催された国の文化審議会の答申により、登録有形文化財※(建造物)になりました。これにより市内の登録有形文化財は、成羽町坂本の西江家住宅と合わせて2件となります。

方谷駅駅舎は昭和3年に倉敷と伯耆大山間で全線開通したJR伯備線に併せて建設されました。駅名は、当地出身の幕末の



JR伯備線方谷駅駅舎

漢学者・山田方谷にちなんでおり、駅名に人名が使われた最初の例といわれています。駅舎は南の高梁川に面して建てられており、木造平屋建、切妻造セメント瓦ぶきです。南面の東寄りには車寄せを設け、出入口としています。車寄せは、柱を洗出しという技法を用いて凝った意匠にするなど、ほかの駅舎には見られない特徴もあります。この車寄せを主として全体を直線的に仕上げられており、近代的な雰囲気があります。

当時の状況を非常によく残しており、「国土の歴史的景観に寄与している」という登録有形文化財の基準を満たしていると評価されました。

※登録文化財制度：近年急速に失われつつある明治・大正・昭和期の身近な建造物などを幅広く守っていくための制度
■問い合わせ 社会教育課文化係 (☎21516)